

山形大学附属学校園だより 六 稜

2012. 3. 12
【発行】
山形大学附属学校園
【印刷】
坂部印刷株式会社



これまで附属学校園関係者の皆様には在任中は大変お世話になりました。有難うございました。皆さんのご健勝とご活躍をお祈りしております。

附属学校園のOB・OGおよびPTAの皆さま方から日頃いた、たいております附属学校園への協力、ご支援に対し、厚く御礼申し上げます。また、この度の附属中学校での不祥事により、皆さまに多大なるご心配とご迷惑をおかけしました。心よりお詫び申し上げます。現在、附属中学校はもとより、附属学校園全体が一丸となって心を新たに、皆さまから信頼される、安心安全で、良好な教育環境を取り戻すべく一生懸命励んでおります。



附属学校園運営部長
貝山道博

運営部長を退任するにあたって

今年で4年次となる5月の公開研究会では、文部科学省から各教科9名の教科調査官等を招聘しながら研究成果を全国に発信することができました。6月の市中体連大会では、個人34名が入賞。団体では男女剣道部が3位で県大会出場。男女ソフトテニス部が三位で、女子が県大会出場しました。更に東北総体に、陸上部13名、剣道部1名、水泳部1名が出演し、陸上で1年女子100mで佐藤由菜さんが見事4位入賞を果たしました。10月のPTA校内ソフトバレーボール大会ではお母様方が大活躍、市PTAソフトボール大会ではお父様方と本校教員の絶妙な連携プレーが見られました。山形大学附属中学校PTAの皆様がこの場をお借りして御礼申し上げます。

主な行事と日程

- 4月28日 PTA総会 歓送迎会
- 5月26日～27日 公開研
- 7月7日 運動会
- 8月 2年の関西研修を始め、各学年研修
- 11月8日 合唱コンクール(テルサホール)
- 11月30日 1学年が東北大学で進路学習

附属特別支援学校では、小学部・中学部・高等部の児童生徒が学んでいます。附属小学校3、4年複組と小学部との交流及び共同学習では、お互いのよさを認め合いながら、楽しい活動ができました。

中学部では、今年から3年生が「就業体験学習」に取り組みました。校内の清掃作業とおして、多くのことを学ぶことができました。高等部では、現場実習を行いました。多くの事業所の協力を得ながら、卒業後の生活に向けての取組を進めています。

今年の学習発表会は、日ごろの学習成果を児童生徒一人一人が十分に発揮することができるよう内容にしました。また、高等部作業学習を小学部児童が体験したり、中学部生徒のバザーに小学部児童、高等部生徒が参加したり、学部のつながりを深める学習発表会になりました。

これからも児童生徒の確かな力を育てる学校にしたいと思っております。

主な行事と日程

- 4月29日 PTA総会
- 5月28日 運動会
- 8月5日 夏期セミナー
- 12月2日 公開研究会
- 1月27日 学習発表会



附属中学校

家から持参した野菜くずを畑に入れて土作りをしました。みんなで蒔いた種は芽を出してぐんぐん育ち、やがて立派な大根になりました。途中、蝶がやってきて卵を産み、青虫も生まれました。土だらけの大根を掘って洗って、味噌汁や葉炒めを作って食べました。干して漬物にもなりました。雪の下から掘り出した大根は、お雑煮に入れました。大寒に茹でて干した大根は日ごとに小さくなっていきました。水に戻しての煮物も楽しみです。子ども達は、素材とじっくりかかわる中で、心を動かして様々な発見をします。時には友達とぶつかり合いながら、自ら考え工夫し、活動を楽しんでいます。実体験での気づきを大切に、「学び」の芽や種、そして根っこを育てたいと考えています。

主な行事と日程

- 4月27日 PTA総会
- 5月14日 親子園外保育
- 6月1日 公開研究会
- 9月17日 運動会
- 12月9・14・16日 ステージフェスティバル
- 3月2日 年長さんありがとうの会



附属幼稚園



特別支援学校

附属小学校では、「学び続ける子ども」の育成をめざして、日常的に「つながり」を大切にした教育活動を行っています。「みのり班」での異学年交流を通して、上学年生は下学年生のことを思いやり、下学年生は上学年生のよいところを受け継いでいます。日常的なみのり班活動や清掃、スポーツフェスティバルなどを経て、ほんものつながりを求めています。

みのり活動でのつながりを生かして、ますますすてきな附属小学校を創っていきたくと考えています。

主な行事と日程

- 4月29日 PTA総会
- 6月3日 春の公開研究会
- 7月23日 親子わくわくワークショップ
- 9月10日 みのりスポーツフェスティバル
- 11月11日 秋の公開研究会
- 3月7日 6年生を送る会



附属小学校

編集後記

山形大学附属学校園だより「六稜」第四号を発行することができました。今年度は、東日本大震災や放射能問題、大雪と今まで想定しえなかったことが起こりました。そのような中でも、子ども達は、北国の冬を乗り越えて、たくましく生きていく姿を見せてくれます。

また、附属学校園間の連携も、附属学校園運営部の指導のもと、深まりを見せています。その様子は、本紙に掲載されている写真からも垣間見ることが出来ます。

これからも、連携の質を高めながら、多方面にわたってつながりをもつことが大切です。今後も各校園の特色を出しながら、理解し合い、実のあるつながりを求めていきたいものです。

編集委員

- 館野文枝・加藤良子(幼)
- 笠原博美・安達菜里子(小)
- 佐藤恭子・奥山智美(中)
- 勝島由利子・遠藤妙子(特)

子ども達とPTA活動

附属幼稚園PTA会長 佐藤 公啓

PTAは主に母親達の努力の上に成り立っていますが、父親が参加する「ふようおやじ会」も、設立三年を経過しました。年三回の奉仕活動の他、夏祭りや、芋煮会などを通して、職業や年齢の垣根を越えて、同じ年頃の子どもの持つ親同士として、交流を深められることに大きな意義を感じています。集まりを通じて父親にも幼稚園がより身近なものに感じられるようになり、それはPTA活動の円滑な運営に寄与しています。年初の東北附P連会長会でも、当園の父親参加の取り組みは、他県から大きな羨望を集めました。

PTA活動は、教育全てが園任せではなく、保護者が子どもの教育について、真剣に考えさせてくれる場であると感じます。子ども達を取りまく環境も大きく変化しており、時代と共生したあり方を、PTA活動を通じて考えることができます。自分ができると思いません。自分が子どもの笑顔のために何ができるかを考え、積極的にPTAに参加して頂くことを期待しています。



園庭整備 (幼PTA)



家庭科学習 幼稚園児とのふれあい (幼・中)

東日本大震災と附属

附属中学校PTA会長 桂木 宣均

今年は何をおいても「東日本大震災」を抜きには、学校生活もPTA活動も語る事ができない一年でありました。被災者の皆様に衷心よりお見舞いとお悔やみを申し上げます。「思いやり」「やさしさ」そして「絆」。子ども達は、この大震災から多くのことを学ぶことができたと思います。

一月末に東北地区の附属学校園PTAの会合があり、東北各地の附属学校園での震災への対応をお聞きする機会がありました。例えば、最も被害が大きかった宮城では、三十数人の生徒が学校に泊まったとか、岩手では、家に帰れず友人宅に泊まった子どもを一晚中捜し回った、とか。広い地域から通学する附属の場合、災害時の対応について、附属学校園全体として、もう一度検討すべきことがあるのではないかと感じたところでもあります。

私達PTAも、大学や学校園とともに、子ども達の安全あるいは防災についてもっと積極的に関わっていく必要があると思います。是非皆様のご指導ご協力をお願い申し上げます。



ソフトボール大会 (中PTA)



学習参観 (小・中)



幼小交流 楽しくゲーム (幼・小)



附特との音楽交流 (中・特)

附属小学校のPTA活動の紹介

附属小学校PTA会長 鈴木 吉徳

附属小学校のPTA活動には二つの面があります。一つは「一人一役運動」ということで、各保護者が、学校の環境整備やみのりスポーツフェスティバルのお手伝いなどから希望の活動を選択し、各自その活動に取り組んでいただく活動です。すべての保護者の方に参加していただく事で、偏りなく学校運営への関わりを実感していただくよい機会になっていると思います。

もう一つは、「各専門部が中心となって行う活動」で、歓迎会、レクリエーション大会、研修会、広報誌の発行などがあります。こういった活動は、日頃なかなか触れ合う機会が少ない保護者同士が、一堂に会することで懇親を深めたり、情報を交換したりすることができます。PTAで実際に活動するのは、一人にしてみれば年に数回の活動であり多くを求めることはできませんが、学校や他の保護者の考えや思いをよりよく理解し、協力し子どもの学ぶ環境を作っていく上でも欠かせない活動だと思います。

今後より多くの保護者の方に、前向きな気持ちで参加していただきたいと思います。



PTA奉仕作業 (小PTA)



附小との交流及び共同学習 (小・特)



合唱交流会 (小・中)

PTA活動を振り返って

附属特別支援学校PTA会長 高山 さおり

今年度のPTA活動として、三月の東日本大震災に際しまして義援金活動を行い、宮城教育大学附属特別支援学校へお届けして参りました。またモンテディオ山形サッカー普及コーチをお迎えして、親子で一緒に体を動かす楽しみや、子どもたちがボールを蹴る楽しさを味わうことができました。何より子どもたちの笑顔を見ることができたことは、本当に開催してよかったです。

今年度、他にも様々なPTA活動がありましたが、みんな心をつなげた活動が充実した一年でした。これも先生方、保護者の皆さまのご理解ご協力のおかげと心より感謝いたします。私はこの附属特別支援学校のPTA会長として全附連、東北地区の研修会に参加させていただき各地の障がいをもつ子どもの保護者の方々と話し合う機会が多くなりました。皆さん様々な不安を抱えながら毎日を送っていることを改めて実感しました。しかし、今後いろいろと状況は変化していきますが、慌てず、今できること、一日一日を大切にしながら子どもたちの小さな一歩に大きな喜びと感謝をこめてまた前へ進んでいきましょう。そして、今という時にありがとうございますと、いつもたくさんのお力添えをくださる先生方、皆さま方に感謝申し上げます。



親子レクリエーション大会 (特PTA)